

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第4区分
 【発行日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【国際公開番号】WO2024/209834
 【出願番号】特願2024-538997(P2024-538997)
 【国際特許分類】

C 2 2 C 38/00(2006.01)
 C 2 2 C 38/60(2006.01)
 B 2 2 D 11/00(2006.01)
 B 2 2 D 11/124(2006.01)
 B 2 2 D 11/12(2006.01)
 B 2 2 D 11/22(2006.01)
 C 2 1 C 7/04(2006.01)
 C 2 1 C 7/10(2006.01)

10

【FI】

C 2 2 C 38/00 3 0 2 Z
 C 2 2 C 38/60
 B 2 2 D 11/00 A
 B 2 2 D 11/124 L
 B 2 2 D 11/12 F
 B 2 2 D 11/22 B
 C 2 1 C 7/04 B
 C 2 1 C 7/10 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月26日(2024.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Niを5～10質量%含有するNi含有鋼鋳片であって、
質量%で

Sb: 0.004%以上、0.015%以下、

C: 0.01%以上、0.10%以下、

Si: 0.01%以上、0.40%以下、

Mn: 0.20%以上、1.00%以下、

40

P: 0.005%以下、

S: 0.005%以下、

Al: 0.020%以上、0.040%以下、

N: 0.001%以上、0.005%以下、

Cu: 0.0%以上、0.5%以下、

Cr: 0.0%以上、0.5%以下、

Mo: 0.0%以上、0.5%以下、

V: 0.00%以上、0.05%以下、

Nb: 0.00%以上、0.05%以下、

並びに、残部がFe及び、不可避免的不純物からなり、

50

表層の粒界酸化深さが200 μm以下である、Ni含有鋼鑄片。

【請求項2】

請求項1に記載のNi含有鋼鑄片の製造方法であって、

Sbを0.004質量%以上、0.015質量%以下で、前記Ni含有鋼鑄片の原料に混合する混合工程と、

連続鑄造の二次冷却帯において前記Ni含有鋼鑄片の曲げ矯正を行う曲げ矯正工程と、を有し、

前記曲げ矯正工程は、前記Ni含有鋼鑄片の表面温度が800以上、1100以下で実行される、Ni含有鋼鑄片の製造方法。

10

20

30

40

50